

保護者アンケート(後期) R7年度 12月実施

A(よくあてはまる) B(ややあてはまる) C(あまりあてはまらない) D(まったくあてはまらない) E(わからない)

内 容		R7・後期(%)					R 7・前期 (%)				
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	18	59	11	0	12	20	65	6	0	9
2	子どもは学校が楽しいといっている。	29	57	11	2	1	37	50	10	1	2
3	学校は保護者・家庭への連絡をきめ細かく行っている。	20	62	13	1	4	20	56	15	1	8
4	先生は生徒のことについて適切に相談に応じてくれる。	27	53	10	1	9	24	56	6	0	14
5	先生は子どもの間違っただ行動には厳しく指導してくれる。	27	50	8	1	14	25	53	6	0	17
6	先生はわかりやすい授業に努めている。	16	56	7	0	21	13	60	7	0	20
7	子どもは学校行事に積極的に参加している。	43	46	7	1	3	36	49	9	1	5
8	生徒会活動や委員会活動は活発である。	24	46	4	1	25	22	46	4	0	28
9	子どもは部活動に意欲的に取り組んでいる。	49	38	8	4	1	57	35	6	2	1
10	学校は保護者や地域の人々と話す機会をよく設けている。	13	46	15	3	23	14	48	14	0	24
11	P T A活動は活発である。	12	51	9	1	27	15	46	9	0	29
12	学校の電話対応はよいと感じる。	39	47	5	0	9	39	46	4	0	11
13	学校の施設・設備はよく整っている。	49	46	2	0	3	47	45	2	0	7
保護者の意見	・子どもは自転車通学ですが、雨の日や冬季は日没も早く、車で送迎しています。早く終わった日などは公衆電話でかけてきますが、非通知で着信があるため、取り逃すと困る時もあります。市内の小学校はUF0カードでタッチすると保護者に通知がくるシステムを導入しているので、下校時間が分かり大変助かりました。中学校でも導入できるように商工会と検討して欲しいです。 ・テスト結果や順位の紙を持ち帰るが、保護者印を押して学校へ持って行くのか、不要のかなはつきり分からない。どうすべきか、子どもたちにPRされているのでしょうか？ ・育ち盛りの子供達にもっと給食の質、量をあげてください。 ・苦手な教科の勉強をもっと習える機会があればいいな、と思います。 ・部活動について 保護者の介入が、度が過ぎると感じる事があります。 方針を踏まえた顧問の先生への指導をお願いします。 また、顧問の先生の個人のLINEアカウントを使用した部活動に関する連絡事は適切ではないと考えますが、学校は許可しているのでしょうか。 先生について 先生の言葉遣いが気になると聞いています。 具体的には、マジ？等の言葉を遣う事がよくあるとの事です。 生徒は先生から教育を受ける立場であり、目上の人を敬う気持ちを養ってもらいたいと思っています。 親しみを持つという意味はあるかも知れませんが、生徒には、一人一人を尊重した接し方をしていただきたいです。 特に新人に対する多方面からの教育をお願いします。 ・秩序を乱す生徒への適切な対応を求めます ・些細なことですが、 ・小中学校の行事が重ならないようにして欲しいです。 ・昨年今年も思ったことですが、2年生の合唱の課題曲「時の旅人」は難しすぎだと思います。 ・子供が書類を出さないで、どんな案内が来てるのか分からない。メールか何かで提出物などの締切を案内してほしい。英検を申し込めなかった。。。 暑い日や冬に備えて、室内活動用に体育館を広げるかふやしてほしい。 屋外活動時、休める日陰（屋根）を付けてほしい。										

【改善した点】 【課題となる点】

- ・月1回以上のHPの更新、安心・安全メールでの情報発信の結果、教育方針、保護者連絡等の肯定的なA+B評価は安定している。
- ・項目3「学校は保護者・家庭への連絡をきめ細かく行っている。」のA+B評価が85%と前期より6%の上昇。
- ・A+B評価の割合が減少した2項目。項目1「教育方針」項目9「部活動」

【考察】

- ・いしかわ教育ウィークを学校公開週間として設定し、全クラスにおいて道徳の授業を公開するとともに、全保護者および地域住民を対象に文化祭・体育祭の公開の機会を設けた。これにより、学校と保護者・地域との連携を一層強化することができた。

【今後の方向性】

- ・今後は、これまで以上に参観の機会や情報発信の回数を充実させていく必要がある。また、学力向上を図るため、思考の場を適切に設定するとともに、ICTを効果的に活用した授業改善を推進し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを通して、個に応じた「分かる授業」を目指す。